

## 小平南西部地域における新たな交通手段の実証実験運行に向けた支援について

### 1 南西部地域における地域交通の利便性向上に向けたこれまでの取組

- ・コミュニティタクシーの試行運行に向けて、平成30年7月から令和3年3月まで、3ルートの実証実験運行を実施したが、いずれのルートも当初の目標値を大きく下回り、地域の特性や道路交通事情等に運行システムが合致しない結果となった。
- ・令和3年度は、「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」において、これまでの実証実験運行結果や取組等を分析・検証し、その中でコミュニティタクシー以外の新たな交通手段の研究や既存の公共交通機関の有効活用を検討する方向性を示した。
- ・令和4年度からは、「小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」（以下「考える会」という）に名称を変更し、令和3年度の研究内容を踏まえ、地域の実情やニーズに即した新たな交通手段として、多様な運行形態の中から「デマンド型交通」に絞り、運行システム等について検討している。

### 2 新たな交通手段の運行形態をデマンド型交通に絞る理由

#### (1) 地域の状況

- ・南西部地域は東西に広いが、幹線道路が他の地域に比べて少なく、狭隘道路も多い。
- ・生活圏が玉川上水や鉄道で複数に分断されている。
- ・地域内の移動傾向が、鷹の台駅へ向かう動きだけではなく市を跨いだ国分寺駅や立川駅、東大和市駅など複数の駅に向かい、移動の目的が買い物や通院先等で行先が分散している。

#### (2) 考える会の見解

- ・コミュニティタクシーのような定時定路線の交通手段ではなく、柔軟に運行ルートや乗降場所が設定できる「路線不定期運行」または「区域運行」のような形態が地域に合致している。
- ・分散化している人の動きに対して、よりきめ細かいニーズに即した交通手段が求められている。
- ・地域の特性やニーズを反映するためには、運行方式や運行ダイヤ、乗降場所などを柔軟に設定することが可能なデマンド型交通の実証実験運行を実施する必要がある。

#### (3) 考える会の見解に対する市の考え

他の3地域のコミュニティタクシーと同様に、地域ニーズに基づくコンパクトな地域内の生活交通の充実を図り、最寄り駅へのアクセスや買い物、通院など、市民の生活の足を確保する交通手段として、デマンド型交通を優先的に検討することが適当である。

### 3 南西部地域におけるデマンド型交通の運行目的

地域の特性やニーズに応じたデマンド型交通を運行することで、コンパクトな地域内の生活交通の充実を図り、最寄り駅へのアクセスや買い物、通院など、市民の生活交通を確保する。

#### 4 実証実験運行を実施する理由

利用状況や運行経費などのデータを把握することで、運行目的の達成状況や運行による効果を分析・検証し、生活交通としての適性を見極めるため、デマンド型交通の実証実験運行に向けた支援を行う。

#### 5 支援の内容

- (1) 運行エリアや乗降場所、適正な運賃設定などの課題について、考える会との協働により引き続き検討する。検討に当たっては、市の補助金が過度な負担とならないよう、他の地域との公平性やコミュニティタクシーとのバランスを考慮する。

##### 【デマンド型交通の導入・運行経費の内訳（想定）】※①②ともに都補助金補助率1/2

###### ①初期費用

運行システム等調査検討費、運行システム導入費、リース車両費等

###### ②運行経費（収支差額）＝運行経費－運賃収入

運行経費：人件費、燃料費、車両整備費、運行システムランニングコスト等

運賃収入：運賃×乗車人数

- (2) 安全に運行し、円滑に準備行為を進めるため、運行事業者、警察署、国土交通省などの関係機関等と調整を図る。
- (3) 東京都の補助金を活用するため、「(仮称)小平市の地域公共交通の基本方針」(令和5年度末に策定予定)との整合性を図りながら、実証実験運行に係る実施計画を策定する。

#### 6 継続運行への移行の判断

持続可能な地域公共交通を構築するため、引き続き、考える会と共通認識を図りながら、継続的な運行へ移行するための利用者数や市の補助金額などの判断基準について検討する。

#### 7 今後の予定

##### (1) 令和5年度

- ・各会議の開催（小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会、地域公共交通会議等）
- ・予算措置（運行システムの選定、実施計画策定に要する調査検討費等）
- ・実証実験運行に向けた準備・調整（運行システムの検討、実施計画策定等）

##### (2) 令和6年度

- ・実証実験運行に向けた準備・調整、周知・PR活動
- ・予算措置（実証実験運行に係る経費）
- ・実証実験運行開始（運行期間は概ね1年間）